

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2013年45週(11月04日～11月10日)

### ○ 山梨県内流行情報

第45週は、大きな動向の変化はありませんでしたが、RS ウイルス感染症については中北保健所管内で7件、富士・東部保健所管内で9件報告されるなど、例年の同じ時期に比べ報告が多い状況が続いております。全国で発生が増加傾向にあるRS ウイルス感染症は、初めて感染発症した場合は重症化しやすいといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、今後の発生動向に引き続き注意が必要です。

寒さが本格的になり、インフルエンザや胃腸炎などが本格的に流行する前に、改めて家族全員で手洗い・うがいを励行するとともに、バランスのとれた食事や十分な休養を心がけるなど、体調の管理に留意しましょう。

【今週の警報】:なし / 【今週の注意報】:なし

### ○ 富士・東部管内流行情報

RSウイルスが増加しています。咳などの呼吸器症状がある場合はマスクの着用、うがいの励行を心がけ、家族全員の健康管理に留意してください。

### ○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	528	0.11	3637	1.16	1023	0.33	3480	1.11	12940	4.11	2647	0.84
山梨県	-	-	16	0.67	3	0.13	20	0.83	83	3.46	4	0.17
中北	-	-	7	0.88	-	-	7	0.88	45	5.63	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	6	1.2	20	4	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	6	1.5	11	2.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	2	1
富士・東部	-	-	9	1.8	2	0.4	1	0.2	4	0.8	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2495	0.79	157	0.05	1534	0.49	26	0.01	307	0.1	670	0.21
山梨県	9	0.38	-	-	8	0.33	-	-	2	0.08	1	0.04
中北	-	-	-	-	5	0.63	-	-	2	0.25	1	0.13
中北峡北	1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	2	0.5	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	0.6	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	292	0.43	15	0.03	21	0.04	164	0.35	14	0.03
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## ○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	45週		44週		43週		42週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	0.03	1	0.08	3	—	—
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	0.67	16	0.25	6	0.38	9	0.29	7
咽頭結膜熱	やや増加しています	平年並みです	0.13	3	0.04	1	0.04	1	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.83	20	0.71	17	0.79	19	0.5	12
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	3.46	83	3.42	82	2.83	68	2.21	53
水痘	減少しています	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.67	16	0.17	4	0.38	9
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.38	9	0.63	15	0.58	14
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	1
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.33	8	0.46	11	0.67	16	0.08	2
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	—	—	0.04	1
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.17	4	0.38	9
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	—	—	0.33	3	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1
クラミジア肺炎	—	—	0.1	1	—	—	0.2	2	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

## ○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
四類感染症	レジオネラ症	峡東	女	74
二類感染症	結核	峡東	男	48
五類感染症	アメーバ赤痢	峡東	男	49
二類感染症	結核	富士・東部	女	83